

きづな



輝く半田市の未来を創る あなたのお話を聞かせて下さい

輝く半田未来の会 公式HP

発行 第33号 令和7年4月20日 討議資料

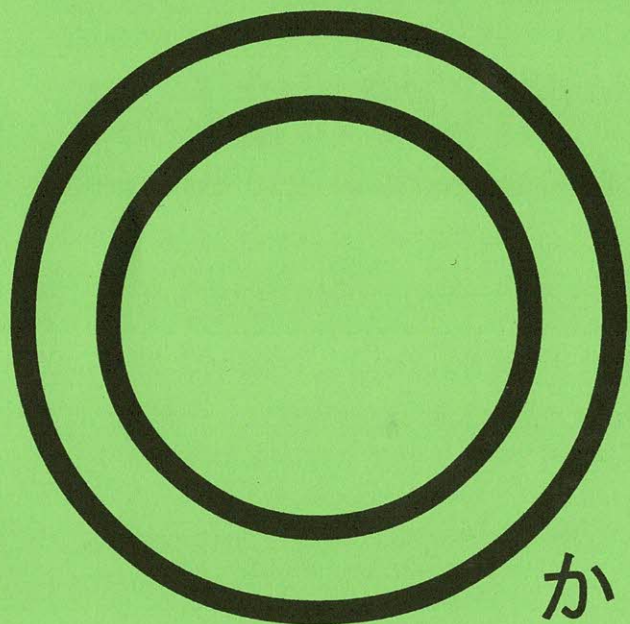
輝く半田 未来の会

半田市新栄町37番3

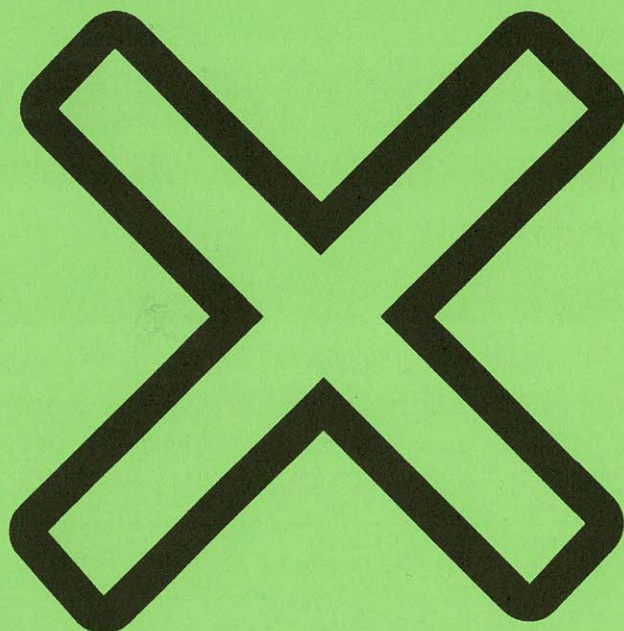
tel 0569-22-3398 fax 0569-22-3399

e-mail kagayaku-handa@na.commufa.jp

市民の命を守ることを第一とする半田市政



か



か

南海トラフ巨大地震 死者最大 29万人

令和7年3月31日、南海トラフ巨大地震が発生した場合、全国の死者数29万人、建物全壊消失235万棟、全国の避難者数1230万人、経済被害の総額270兆円の被害想定が政府から発表された。大災害から半田市民の命を繋ぐために、

赤レンガ広場に地域の中核病院を建設します

安心して生み育てられる子育て家庭の豊かさの実現のため

幼稚園保育園小中学校の給食費の

無償化を実施します

問題を直視し、対策を確立し、
確実に実行する、安心の街づくり
力強い半田市政を実現し
輝く半田市の未来をつくる！
決めるのはあなたです

市民の生命・財産を守り、
安心して暮らせる街づくり
心豊かに暮らせる街づくり
これがトップの仕事です



<https://kagayaku-handa.jp>
輝く半田未来の会公式HP



(新半田病院)

自宅から知多半島総合医療センター 医療センター直行タクシー



始まります! 令和7年4月1日~

1000円 1乗車

高齢者や患者さんにとって長距離の乗車は苦痛の何物でもない。

税金投入の差額負担はいつまで続く。

公立病院としての体制を根本的に解決する必要性を示している。

赤レンガ病院が必要な根拠です。

半田市から市民病院が無くなりました

新半田病院は市民にとって遠く離れた病院になってしまいました

病院経営統合 解説ガイドによると

新半田病院（知多半島総合医療センター）は

新たな場所で地域の命を守る。三次救急医療機関としての役割を担う

救急救命センターによる高度急性期医療やがん治療等の化学療法、放射線療法、手術療法を集中的に担う。スムーズな救急搬送のための道路整備や屋上ヘリポートの設置も進めます。

地域の拠点病院としての役割も担います。



新常滑病院（知多半島りんくう病院）は

リハビリや地域包括ケア、長く地域で暮らすための医療に注力

提供するのは住み慣れた地域で過ごすための医療。回復期リハビリテーション医療や、病院・在宅で患者がより良い医療を受けられるよう地域包括ケアに力を注ぎます。それに加えて、平日日中は外来での救急など急性期医療も担います。



医療の人材資源を有効に機能させるために二つの病院が経営統合したにも関わらず、新半田病院と3キロの近さにある新常滑病院では平日日中は外来での救急など急性期医療も担うという。経営統合の目的に最初から反している。

しかし、常滑市民の命を守る為には致し方ないと考えます。

ならば、半田市にも市民の命を守るために新常滑病院と同じ地域の中核病院を赤レンガ広場に新半田病院の分院として赤レンガ病院を建設すべきと考えます。



半田市民の命を守るためには

赤レンガ病院が絶対に必要です



新半田病院は危篤患者や重篤患者や最高度技術を要する3次医療に専念し、赤レンガ病院は半田市民の2次救急病院として機能し、30年の内80%の確率で起きる東南海地震等の大災害に対応し市民の命を繋ぐ病院としなければなりません。

新半田病院と赤レンガ病院で公立病院の理想的な医療体制を確立します

「半田市民の命を守る」との強い覚悟が無ければトップとしての資格はない

「市民の命を守る事を最優先」としない市政は存在する意味がない

子育て支援、愛知県一の街、半田市！

市内には実に多くの空家が存在します。人口減少で街が衰退している証です。この人口減少による街の衰退を防ぎ、人口増を実現し街を活性化するためには、若い世代に半田市を選んでもらい、長く住んでいただく事が大切です。そのためには、子ども達が伸び伸びと育つ豊かな街づくりしなければなりません。

第一歩として、幼稚園保育園小中学校の 給食費の無償化を実施します



また、待機児童完全ゼロを、保育園・こども園・認定保育所での紙おむつの定額利用サービス等、出来る限りの支援策を実施します。

目指すのは、安心して生み育てられる**子育て家庭の豊かさの実現**です。

「子育て支援」の支援先は半田市で育つ子ども達であって、親が働いているいないに拘わらず、子ども達が豊かに幸福に育つために支援をする事が本来の考え方であると思います。この考えに沿って子育て支援策を進めて参ります



小中学校に洋式トイレが1016台**和式トイレが430台**あります。今の児童生徒は和式トイレを使いません。使う習慣がないのです。いまだに和式トイレが存在します。**直ちに、全てを洋式トイレにします**
子ども達の学び舎である小中学校の維持、管理、修繕を適正に進め、児童生徒の学校での**安全を確保し、清潔な環境**で学べるようにします。

教育費への予算の重点配分をします

新たな公設病院である**赤レンガ病院**の設置も、**子育て支援策**の大切な一つです

山本ひろのぶは

どこの政党にも、属していません
どこの利権業者とも、無関係です
どこの既得権業者とも、無関係です
完全無所属です、公平・公正で
市民一人ひとりに寄り添う
清潔な政治を実践します

<https://kagayaku-handa.jp>
輝く半田未来の会公式HP



山本ひろのぶ 略歴

S24 半田市に生まれる
S47 愛知学院大学商学部を卒業
建設業界に就職
S59 山本博信建築事務所及び
行政書士事務所を開設現在に至る
H7 半田市議会議員初当選
以後連続 5期20年努める
保有資格 行政書士 一級建築士 防災士
一級土木施工管理技士 他
趣味 レク・インディアカ（ニュースポーツ）
スポーツ吹矢（四段挑戦中）
篆刻 篆書道 十円玉磨き
鉄道（旧国鉄JRの全線乗車）
新幹線武雄温泉一長崎間
金沢一敦賀間の乗車で
全線完全乗車の目標達成です



断じて行えば鬼神も之を避く
との覚悟で当たります

もっともっと輝く半田市にするために、あなたのお話を聞かせて下さい

市役所を変えれば、半田市は変わる！輝く未来のために！

市役所の職員の皆さんの意識改革、真に市民のための市役所づくり

誇りと情熱と使命感を持った働き方を進め、説明責任と公平公正な対応の実現
ふるさと納税の目標額を15億円とします。（約8億円の増収を目指す）

土曜・日曜・祝日の午前中に市民課を開庁します。

結婚・出生・お悔やみ等の相談・手続き・証明書の取得を円滑にします

市役所の都合ではなく市民本位の市役所にします

市民生活にはお休みはありません

図書館・博物館・南吉記念館の開館日を増やします。

開館日を増やし、開館閉館時間を見直し、利用者への便宜の向上と

施設の有効活用を進めます。観光資源としての役割も担います



高齢者の生きがいづくり！

シルバー人材センターの登録を1000人以上を目指す

職業訓練を実施し、その方にあった働き方で**人生の生きがい**をつくる

免許返納した方などの交通弱者にコミュニティバスの無料化の実施

コミュニティバスの利便性の改善をし、使いやすさを向上します

社会での活躍の場づくり

音楽・スポーツ・文化活動などの参加促進をし、有意義な人生を

送れるよう**社会での活躍の場づくり**を進めます



安全な街づくり！

発災前の準備 家具の固定化事業・感震ブレーカーの設置事業の推進

発災後の救援 負傷者救援・援護物資受け入れのためのヘリポートの設置

発災後直ちに飲料水等の水の供給可能な体制づくり

旧半田病院跡地に避難施設の機能を持たせた体育館の建設

交通安全対策 劣化した道路の白線等の安全表示の明確化・交通安全推進

名鉄知多半田駅西に送迎用駐車帯と自転車置場を新規設置



市内経済の活性化、賑わいの街づくり！

市の発注は、地元の会社・商店を優遇し、地元経済の活性化に寄与

観光資源の発見と再認識を進め、連携して観光施策の充実を計る

目標、半田市の観光を発信するラッピング電車を走らせる

武豊線高架下の有効活用をJR東海と協議し推進

空家対策

たくさん存在する優良な状態の空家を貸して、家主は資産活用として
収益を上げ、借り手はゆとりのある戸建住宅に住まうことが出来ます。

これにより人口増加に繋がれば、市には経済の活況をもたらす

『三方良し』の政策となります

